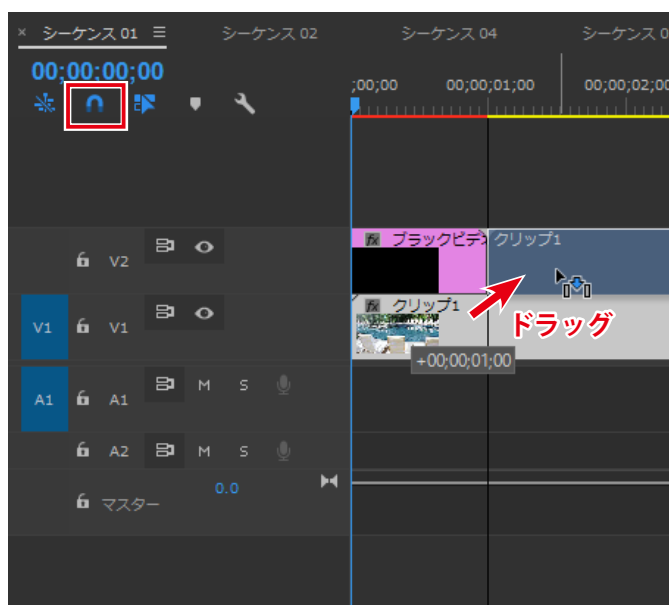


3² クリップの操作

フッターはシーケンスに「クリップ」として配置することで映像に反映されます。ここでは基本的な「クリップ」の操作を学習します。

● クリップの基本操作



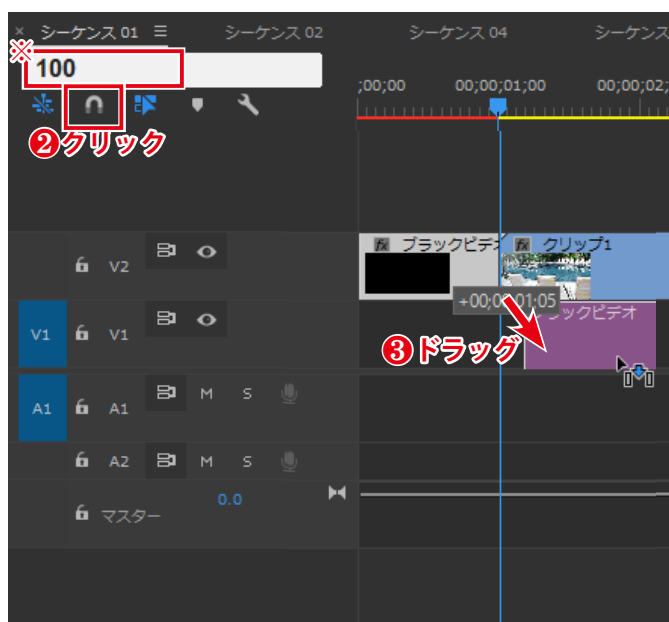
「3_1_タイムラインパネル .prproj」を表示しましょう。

※ 素材ファイルを開いていない場合は、素材フォルダー「lesson3」から「3_1_タイムラインパネル .prproj」を表示しましょう。

◆ 移動

① 「V1」トラックの「クリップ 1」をドラッグし、「V2」トラックの「01:00」から開始するよう移動します。

「シーケンス 01」の「スナップ」がオンになっているため、「V2」の「ブラックビデオ」の後ろにぴったりと移動できました。



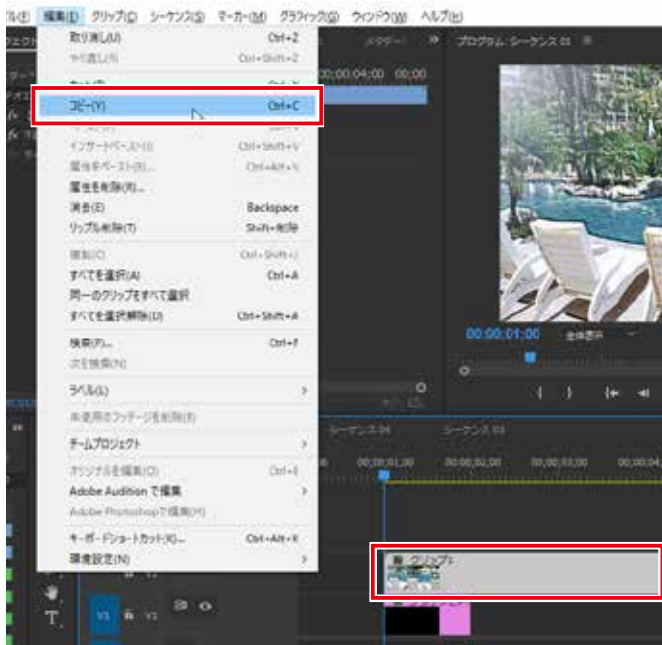
② 「スナップ」スイッチをクリックしてスナップをオフにします。

③ 「01:00」を選択した状態で、「ブラックビデオ」を「V1」の「01:00」に移動します。

※ タイムコードを設定するには、「現在の時間」をマウスで左右にドラッグするか、直接入力して設定します。今回は「01:00」に移動しますので、「100」と入力しましょう。

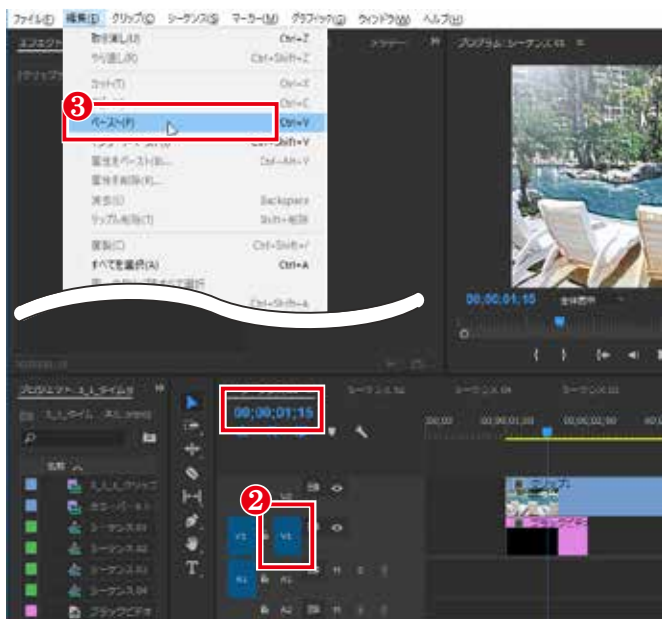
スナップがオフになっているため、再生ヘッドの位置にスナップせず、手動での微調整が必要なことを確認します。

確認できたらスナップをオンに戻して次に進みましょう。



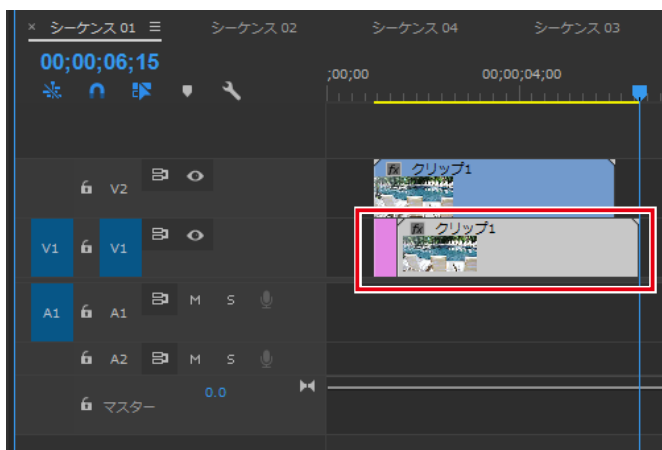
◆コピー＆ペースト

- ① 「V2」トラックの「クリップ 1」を選択した状態で、メニューバーの「編集」 - 「コピー」をクリックします。



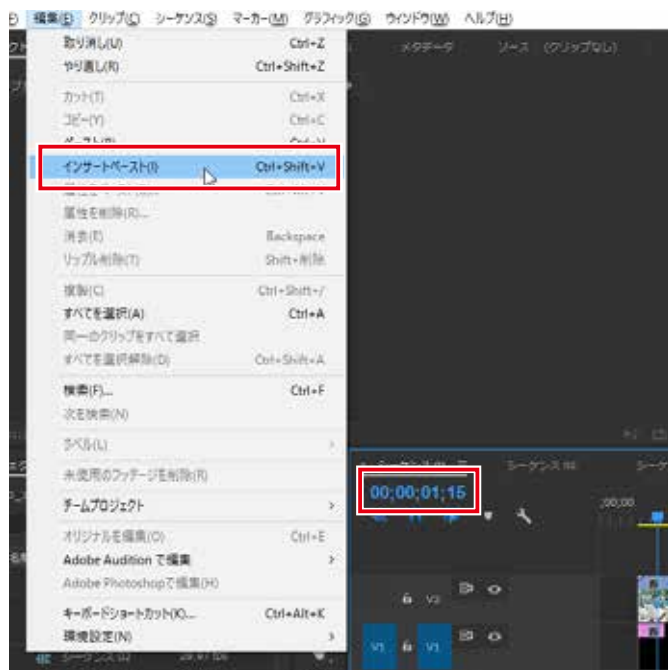
- ② 「V1」トラックを選択します。

- ③ 「01:15」を選択した状態で、メニューバーの「編集」 - 「ペースト」をクリックします。

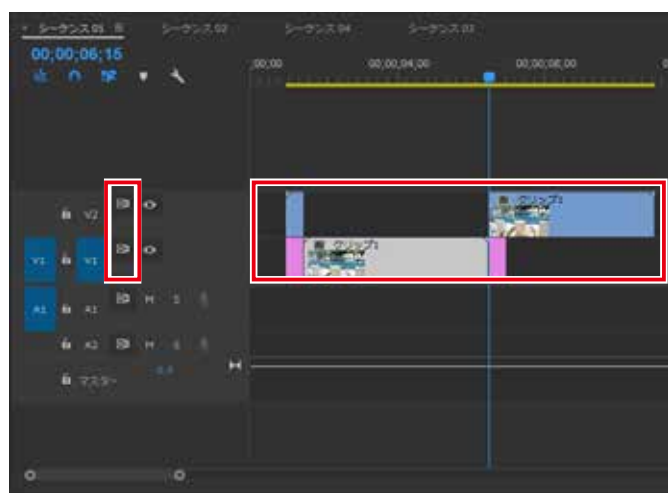


「クリップ 1」がペーストされ、「ブラックビデオ」の後半 15 フレームが「クリップ 1」によって上書きされました。

- ④ メニューバーの「編集」 - 「取り消し」をクリックします。
(Windows:Ctrl + Z / Macintosh: ⌘ + Z)

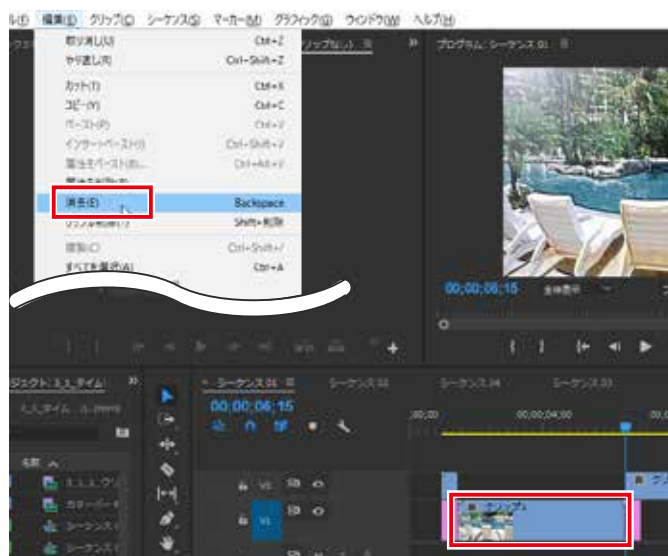


- ⑤ 「01:15」を選択した状態で、メニューバーの「編集」-「インサートペースト」をクリックします。
(Windows:Ctrl+Shift+V / Macintosh:Shift+ ⌘ +V)



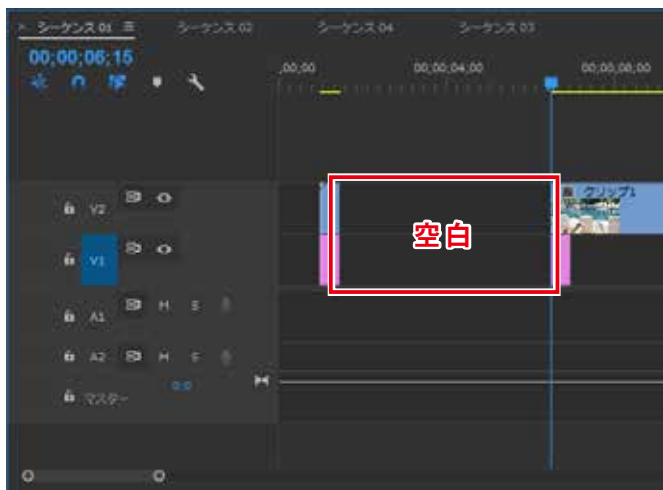
- ⑥ ペーストされた「クリップ1」が「ブラックビデオ」を上書きせず、クリップの間に割り込むように挿入されたことを確認します。またトラックの「同期ロック」がオンになっているため、「V2」もペーストされた「クリップ1」と同じフレーム分の空白が挿入されたことを確認します。

必要に応じて上書きペースト、インサートペーストを使い分けましょう。

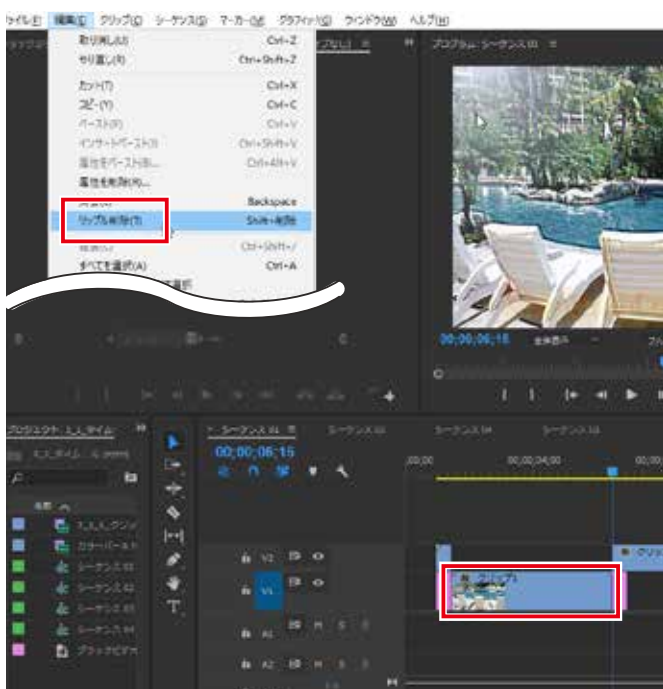


◆削除

- ① 「V1」にコピーした「クリップ1」を選択した状態で、メニューバーの「編集」-「消去」をクリックします。

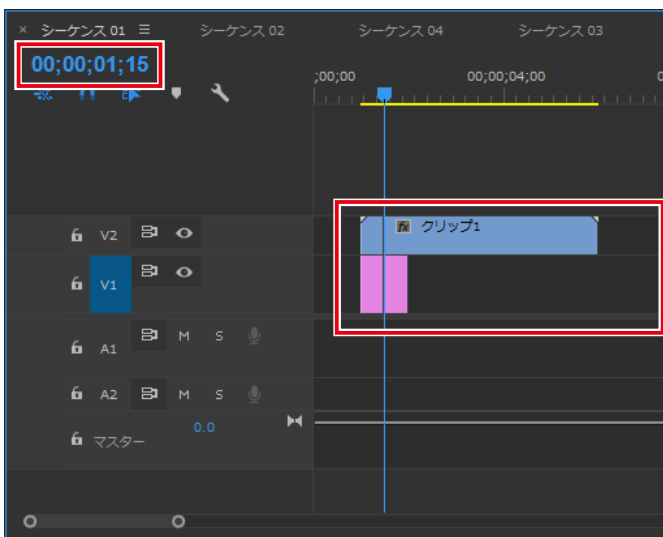


「クリップ1」が削除されました。しかしペーストされた範囲に空白が残ったままです。



② メニューバーの「編集」-「取り消し」をクリックします。
(Windows:Ctrl + Z / Macintosh: ⌘ + Z)

③ 「V1」にコピーした「クリップ1」を選択した状態で、メニューバーの「編集」-「リップル削除」をクリックします。

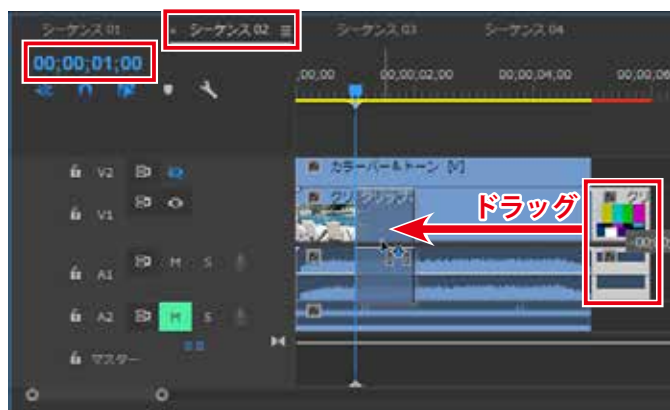


④ 「クリップ1」が削除され、空白を埋めるように後ろのクリップが「01:15」まで移動したことを確認します。

必要に応じて通常の削除とリップル削除を使い分けましょう。

確認できたらそのまま次に進みましょう。

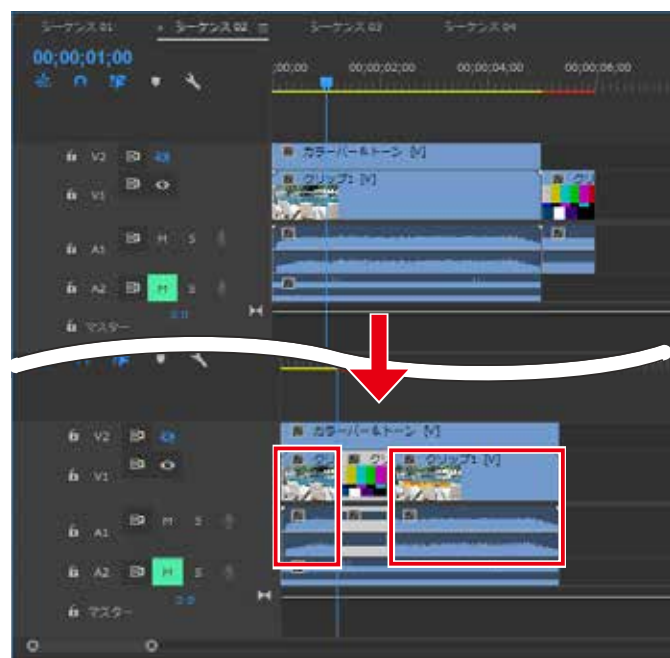
● 特殊な編集操作



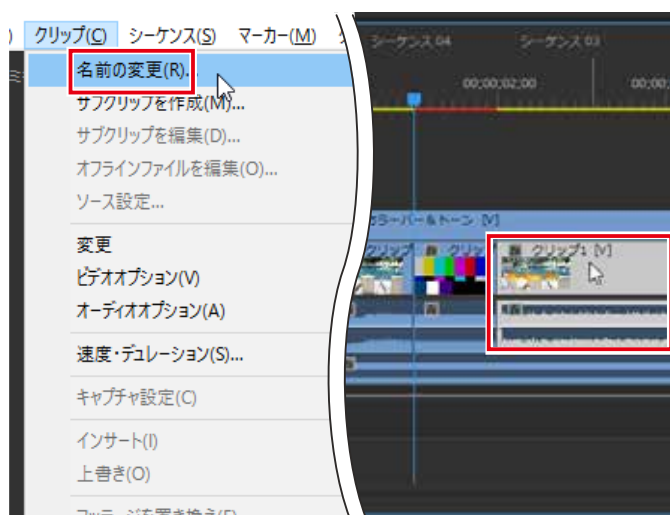
「シーケンス 02」を開きましょう。

◆ 上書き編集

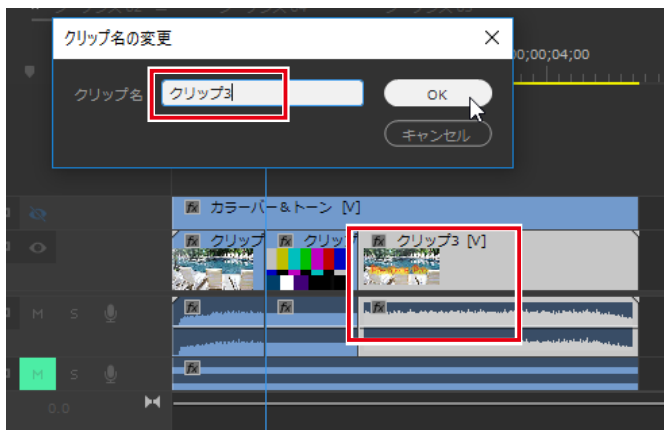
① タイムラインパネルで「クリップ 2」をドラッグし、「01:00」に移動します。



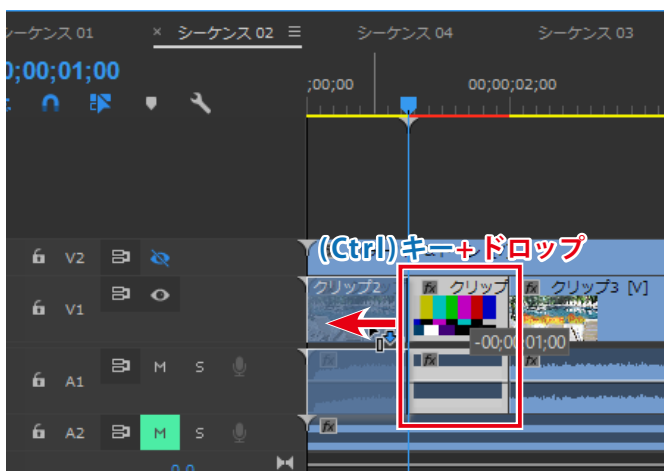
② 「クリップ 2」が「クリップ 1」の「01:00」から「01:29」に上書きされ、「クリップ 1」が 2 つに分割されました。



③ 「クリップ 2」の後ろにある「02:00」からの「クリップ 1」を選択した状態で、メニューバーの「クリップ」-「名前の変更」をクリックします。

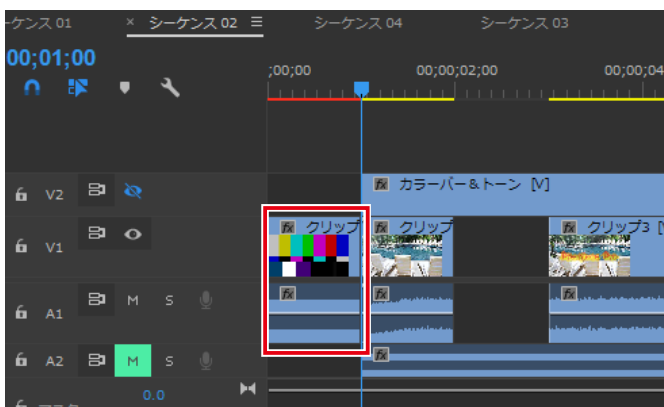


- ④ 「**クリップ名の変更**」ダイアログボックスが表示されます。クリップ名を「**クリップ3**」に変更し、「**OK**」をクリックします。タイムラインパネルで名前が変更されたことを確認します。



◆空白を残したインサート編集

- ① 「**クリップ2**」を「**00:00**」にドラッグし、**(Ctrl)**キーを押しながらドロップします。



- ② 「**クリップ2**」が「**クリップ1**」を上書きせず、割り込むような形で「**00:00**」に挿入されました。「**クリップ2**」があった場所に空白が残っていることを確認します。またV2、A2トラックの「**カラーバー&トーン**」も「**クリップ2**」の移動に同期して動いたことを確認します。



同期ロックの切り替え

「**同期ロック**」がオンになっているトラックは、他のトラックのインサート編集に同期してクリップの位置を自動的に移動させます。他のトラックの編集に関わらず位置を固定したい場合は、同期ロックをオフに切り替えましょう。

